

令和 4 年

号外

た い じ

大樹便り

〔 発 行 〕
社会福祉法人 大樹
〒710-0031

倉敷市有城 605-3
FAX (086)441-3443
(令和 4 年 9 月 1 日)

新送迎車 配備特集！

公益財団法人 J K A 様の補助により、新しい送迎車が配備されました。



この度、公益財団法人 JKA 様の補助の下、車いす仕様スロープ付きの送迎車を導入することができました。ベースとなる車両は SUZUKI スペース HYBRID です。これにより、乗り心地が優しく静かに、また以前より格段に環境にやさしい状態で送迎を実施することができるようになりました。

実際に使ってみて「揺れが少なく乗り心地がいい」や「前の車だと乗り物酔いをしそうだったけど、これからは心配が無い」などの利用者さんの感想をいただいています。また、運転する職員からも「ハンドルが軽くなって運転しやすい」「揺れが少なく静かなので利用者さんの様子が良くわかる」との評価を得ています。加えて飛沫防止のシートを設置したことにより、感染症予防の観点からも安心です。横や後方の標識により、当法人の車だという視認性も良く、走行していてもすぐに見つかります。

車両は大樹倉敷作業所に配備され、毎日の送迎に利用されています。今回の補助事業を実施していただき、公益財団法人 JKA 様に深く感謝しております。また、このようなご活動をなさっていることを、この書面で少しでもご披露できたら嬉しいです。(理事長)

▶ 利用の様子

車体後部のスロープを出して、次に車の中からベルトを引き出し、フックを車いすのフレームに引っ掛けます。

介助者はリモコンを持ち、安全に注意しながらベルトを引き込むウインチを動作させます。すると車いすはゆっくりと車両の中に引き込まれていきます。その際、介助者は力を要求されないの、注意を安全面に集中させることができます。



乗り込み完了です！

車いすを固定するため、後ろからも車いすを引っ張るようにフックを掛けます。

これで車いすはガッチリ固定されますが、更にシートベルトを着用して体を固定します。

車両後部の空間、特に頭上はかなり余裕があり、圧迫感は全くありません。非常に開放的な空間で、ゆったりと送迎を利用していただけます。



車いすの方だけでなく、足の弱い方もスライドドアで乗降が楽になりました。



標識が目立つので、送迎時に認識が容易です。